

目 次

開会のご挨拶	2
開催概要	3
会場へのアクセス	4
参加者へのご案内、発表者へのご案内	6
幹事会のご案内	7
プログラム	8

開会のご挨拶

この度第 45 回日本中毒学会西日本地方会の世話人を拝命しました。今回で 45 回という歴史を刻む本会を一宮で開催できることを大変光栄に思うとともに会員の皆様に感謝申し上げます。また今回は日本中毒学会中国・四国地方会と合同で行う初めての学術集会ということで身の引き締まる思いです。

今回のテーマは「自然毒を再考する」といたしました。私が勤務する一宮市立市民病院は東海地方にあります。東海地方は豊富な山海の食材に恵まれています。ということはその中にこっそりと自然毒が紛れている可能性があります。この季節になると「シラスパックの中にフグの稚魚が混入していた」というニュースが散見され、春になると「山野草の中に毒性のあるものが道の駅で売られていた」、秋になると「近所の人からもらったキノコを食べたところ毒キノコだった」といったニュースがよく流れます。今回はそういった自然毒にフォーカスを当てて岐阜薬科大学薬草園園長で薬草園研究室教授の酒井英二先生に特別講演をしていただきます。

中毒学会の一番の醍醐味は多職種の先生方が臨床、分析、研究といった様々な部門での発表・議論・勉強を行うことで知見を広げることにあると思います。今回もそういった演題がたくさんあります。ぜひ最後まで参加していただきたいと思います。

一宮はモーニング発祥の地として有名です。市内にはそのモーニングを提供する店がたくさんあります。学会の開催は昼からですので是非早めにお越しいただき一宮モーニングを楽しんでから参加してください(公式サイトは <https://ichinomiya-morning.com/> です)。

手作りの学会になりますが皆様のお越しをお待ちしています。どうぞよろしくお願ひします。

第 45 回日本中毒学会西日本地方会 世話人 山口 均
(一宮市立市民病院 救命救急センター長)

第 45 回日本中毒学会西日本地方会概要

第 45 回日本中毒学会西日本地方会 世話人
一宮市立市民病院 救命救急センター長

山口 均

日時： 2025 年 2 月 8 日（土）13:00～17:35

会場： 一宮市立市民病院 11 階講堂、11 階会議室
（一宮市文京 2-2-22）

記

- 11:30-12:30 幹事会
- 12:55-13:00 開会の辞
世話人：山口 均（一宮市立市民病院 救命救急センター）
- 13:00-14:10 一般演題 1
座長：内藤 宏道（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 岡山大学病院救命救急
・災害医学講座 高度救命救急センター）
- 14:10-15:10 一般演題 2
座長：岡田 英志（岐阜大学大学院医学系研究科 岐阜大学医学部附属病院救急
・災害医学分野 高次救命治療センター）
- 15:10-15:20 休憩（ドリンクコーナー）
- 15:20-16:20 一般演題 3
座長：神原 永長（東邦大学薬学部 医療薬学教育センター臨床薬学研究室）
- 16:20-16:30 休憩（ドリンクコーナー）
- 16:30-17:30 特別教育講演
「植物とのかかわり方」
酒井英二（岐阜薬科大学 薬草園研究室）
座長：森 博美（岐阜医療薬科大学薬学部薬学科 臨床薬学分野）
- 17:30-17:35 閉会の辞
世話人：山口 均（一宮市立市民病院 救命救急センター）
次会世話人挨拶：織田 順（大阪大学大学院医学系研究科救急医学
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター）

会場へのアクセス

●各地から

空路: 中部国際空港(セントレア)

→ 名鉄 名古屋・岐阜方面 岐阜行 名鉄一宮駅下車

県営名古屋空港

→ あおい交通バス 名古屋駅前直行便(ミッドランドスクエア) JR、名鉄乗り換え

→ 名鉄バス 名鉄西春駅行 → 名鉄犬山線 名古屋方面 名鉄名古屋駅 →
名鉄名古屋駅 名鉄名古屋本線 岐阜方面乗り換え 名鉄一宮駅下車

新幹線: 名古屋駅 → JR 東海道本線下り 米原・大垣方面 尾張一宮駅下車

名鉄名古屋駅 名鉄名古屋本線 岐阜行 名鉄一宮駅下車

在来線: 米原方面から → JR 東海道本線上り 岡崎・豊橋方面 尾張一宮駅下車

静岡方面から → JR 東海道本線下り 大垣・米原方面 尾張一宮駅下車

※JR 尾張一宮駅および名鉄一宮駅は同じ場所になります

車: 名神高速道路 一宮 IC → 国道 22 号線 岐阜方面 中島通 3 丁目左折

: 東海北陸道 一宮木曾川 IC → 国道 22 号線 名古屋方面 中島通 3 丁目右折

●JR 尾張一宮駅・名鉄一宮駅から名鉄バスをご利用の方:

のりば: 一宮駅名鉄バスターミナル(<http://www.meitetsu-bus.co.jp/rosen/ichinomiya>)

路線バス系統: 30・31 宮田本郷行 または 36 川島行 一宮市民病院下車

(<https://municipal-hospital.ichinomiya.aichi.jp/information/access.html>)をご参照ください。

●JR 尾張一宮駅・名鉄一宮駅からタクシーをご利用の方:

尾張一宮駅東出口タクシー乗り場より乗車

●車でお越しの方: 第 3 駐車場(8 時間まで無料 以降 1 時間につき 1 台 100 円)

または第 7 駐車場(無料)

※第 3 駐車場に止められた方は、無料券と交換いたしますので受付時にお申し出ください。

(駐車場案内: <https://municipal->

[hospital.ichinomiya.aichi.jp/information/access.html](https://municipal-hospital.ichinomiya.aichi.jp/information/access.html))をご参照ください。

駐車場案内

第3駐車場、第7駐車場



●会場

会場へは、正面玄関より入って
いただきB棟エレベーター
(左側2台;右側では行きません)で
11階までお越してください。

※注意

救急外来受付よりは入ることが
できません。



参加者へのご案内

1. 受付は 12:15 より、会場前（11 階 講堂前）で行います。
当日の参加費として 2,000 円を受付でお支払いください。
※学生の方は無料で聴講いただけます。
2. クロークはございませんので、ご自身にてお荷物の管理をお願いいたします。
3. 会場内での録音、写真およびビデオ撮影はご遠慮ください。
また、携帯電話はマナーモードに設定していただくか、電源をお切りください。

発表者へのご案内

1. 発表は、すべて口演発表で PowerPoint による発表とします。フォントは標準のものでお願いいたします。
2. Windows10 PC PowerPoint 2016 をご用意します。PC の操作は発表者ご自身で行ってください。
3. PC 持参の場合は、外部出力コネクタをご持参ください。液晶プロジェクターとの接続は HDMI コネクタとなります。
4. 発表データは USB メモリにてご持参のうえ、発表時間の 30 分前までにデータ受付までご提出ください。ファイル名には演者番号および発表者名を明記してください。
5. 一般演題の発表時間は発表 8 分間、質疑応答 2 分間の計 10 分間です。時間厳守をお願いします。
6. 質疑・追加発言は、座長の指名を受けられた後、所属・氏名を明らかにしてからお願いします。
7. 演題受付時に、日本中毒学会準機関紙「中毒研究」掲載用の抄録原稿を、USB メモリまたは CD-R（演題番号と発表者名を明記）で提出してください。なお、後日提出でも結構です。詳細は、下記を参照してください。

●日本中毒学会準機関紙「中毒研究」(へるす出版)の抄録記載要領

1. 抄録の記述内容は、発表予定内容ではなく、発表内容とします。
2. 記述文字数は、1,200 字以内とし、本文以外の演題番号、演題名、演者名（共同演者）、所属、文献を含んだ字数です。
3. 論旨上必要である場合のみ、図または表のいずれか 1 点のみ添付できます。この場合、図表は 400 字に相当するものとし、記述文字数は 800 字までとなります。
4. 本抄録は「中毒研究」誌に掲載予定です。
5. 提出先：第 45 回日本中毒学会西日本地方会事務局（薬剤局 岩田）

E-mail : addiction.westjapan@gmail.com

提出期限：2 月 15 日

●日病薬病院薬学認定薬剤師制度の単位について

本地方会は、日病薬病院薬学認定薬剤師制度の認定対象です。必要な方は、参加受付時にお申し出ください。

幹事会のご案内

幹事会は、11時30分から、同じく一宮市立市民病院 11階会議室で開催します。11時から会議室前で受付をいたします。昼食をご用意しております。（参加費も含め当日3,000円いただきます）

<事務局>

一宮市立市民病院

岩田 智樹（薬剤部）

〒491-8558 一宮市文京 2-2-22

TEL : 0586-71-1911

FAX : 0586-24-7812

E-mail : addiction.westjapan@gmail.com

プログラム

12:55-13:00 開会の辞

山口 均（一宮市立市民病院 救命救急センター）

13:00-14:10 <一般演題 1>

座長：内藤 宏道（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 岡山大学病院救命救急
・災害医学講座 高度救命救急センター）

- 1-1. 同定が困難で対応に苦慮した幼菌オオシロカラカサタケによる中毒の一例
小崎 吉訓（岡山大学病院高度救命救急センター）
- 1-2. 食中毒原因菌カキシメジにおける分類再構築と有毒成分の局在解析
伊藤 哲朗（岐阜医療科学大学 薬学部）
- 1-3. 有毒植物「ヨウシュヤマゴボウ」の毒性成分定量分析法開発および根調理品への適用検討
成田 弥生（山形県衛生研究所 理化学部）
- 1-4. マムシ咬傷における腫脹の分類：GradeIIIへの早期進展例が重症化するかを再考する
久次 康樹（津山中央病院 救急集中治療科）
- 1-5. メキシコドクトカゲ咬傷の一例
川岸 利臣（富山大学附属病院 災害救命センター）
- 1-6. ナツメグを大量摂取した一例
近藤 圭太（春日井市民病院 救命救急センター）
- 1-7. インド洋航行中の船舶で発生したシガテラ中毒関連魚のシガトキシン分析
大城 直雅（国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部）

14:10-15:10

<一般演題 2>

座長：岡田 英志（岐阜大学大学院医学系研究科 岐阜大学医学部附属病院救急
・災害医学分野 高次救命治療センター）

- 2-1. テトラミン分析法を再考する
櫻井 千優（山形県衛生研究所 理化学部）
- 2-2. 高気圧酸素療法とステロイドパルス施行後に著明に意識レベルの改善を認めた一酸化炭素中毒の1例
加納 壮一郎（岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター）
- 2-3. 集団一酸化炭素中毒の過去事例から考える治療指針の重要性
山田 法顕（社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院 救急総合診療科）
- 2-4. 炭酸ガスボンベ使用により心中を図った炭酸ガス中毒の症例
富永 聡（藤田医科大学病院 救急総合内科）
- 2-5. 焼痂の擦過除去および酵素デブリードマンが奏功した、蜂窩織炎を合併したセメント化学熱傷の1例
中島 紳史（JCHO 中京病院 救急科）

2-6. 日本中毒情報センターで10年間に受信した洗濯用パック型
液体洗剤の事故の解析

米谷 亮 (公益財団法人日本中毒情報センター 大阪中毒110番)

15:10-15:20

休憩

15:20-16:20

<一般演題3>

座長: 神原 永長 (東邦大学薬学部 医療薬学教育センター臨床薬学研究室)

3-1. ニコチン中毒により心停止をきたした症例に対して VA-
ECMO を用いた1例

南 健介 (大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

3-2. 急性リチウム中毒に対し内視鏡的薬物回収を行った2例

寺本 昇生 (神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター)

3-3. 6-メルカプトプリン誘発性肝障害の感受性時刻差

吉岡 弘毅 (岐阜医療科学大学薬学部薬学科)

3-4. 産婦人科病院で局所麻酔薬中毒が疑われ脂肪製剤の投与を行
いながら搬送となった1例

若山 佑豪 (岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター)

3-5. 徐脈、低血圧で入院となったグアンファシン中毒の一例

原 公彦 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター)

3-6. 法医解剖における覚醒剤検出例の検討

近藤 稔和 (和歌山県立医科大学 法医学)

16:20-16:30

休憩

16:30-17:30

<特別教育講演>

座長: 森 博美 (岐阜医療薬科大学薬学部薬学科 臨床薬学分野)

「植物とのかかわり方」

酒井英二 (岐阜薬科大学 薬草園研究室)

17:30-17:35

閉会の辞

山口 均 (一宮市立市民病院)

次回世話人挨拶

織田 順 (大阪大学大学院医学系研究科救急医学)

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)